

大阪市立大学都市研究プラザ

先端都市特別研究員（若手）募集要項（2021年4月採用分・再募集）

大阪市立大学都市研究プラザ（URP）では、グローバルCOE拠点としての活動実績を継承し、若手研究者の自発的かつ国際水準の研究活動を支援することを目的として、「先端都市特別研究員（若手）」を若干名、下記の要領にて募集します。

1. 業務内容および研究費と給与

a. 有給（定員：1名）

- 1) URP「先端的都市研究拠点」に所属する受入研究者が主宰する「受入研究プロジェクト」と密接に関連した独自研究プロジェクトを遂行します。別表「受入研究プロジェクト・研究者一覧」を参照のうえ申請書類を作成してください。
- 2) 研究期間は採用日から2022年3月31日までです。この期間中に遂行できる研究計画を作成してください。どのような事情があっても、研究期間が延長されることはありません。
- 3) 拠点事業の一環として開催される予定の合評会（都市研究プラザ特別研究員研究発表会）において、研究発表をしていただきます。また、拠点事業に関連した企画及び実施運営にも参画していただきます。
- 4) 研究費を支給します。支給額は、URPの予算が確定した後、研究計画の査定に基づき決定します（2020年度実績：最高200,000円）。
- 5) 研究費は、大阪市立大学の経費支出基準に基づき執行されます。また、同種研究費の重複給付は行いませんので、旅費の執行が認められない場合があります。
- 6) 研究活動結果報告書および決算報告書を、各年度末に提出していただきます。
- 7) 勤務日を週3日として本学規定に基づく時間給（博士号取得者1,924円、未取得者1,600円）を支給します。
- 8) 再募集に際しては、採用日が2021年4月1日より1か月程度遅れる可能性があります。

b. 無給・研究費のみ（定員：若干名）

- 1) 上記1)～6)のみが該当します。

2. 応募資格

a. 有給

- 1) 次の①または②のいずれかに該当する者。
 - ①博士号取得済みで、任用期間中に研究を本務とできる者（※）。
 - ②2021年3月末までに単位取得退学ののち2022年3月末までに博士号を取得する所得見込みがあり、任用期間中に研究を本務とできる者（※）。※：他機関における職務専念義務の制約がないことを指します。
- 2) これまでに先端都市特別研究員（若手）として採用されたことがある方でも、博士号を取得済みであれば応募が可能です。
- 3) 「b. 無給・研究費のみ」との併願も可能です。

b. 無給・研究費のみ

- 1) 次の①～③のいずれかに該当する者。
 - ①後期博士課程（博士課程）に在籍中の者
 - ②単位取得済みでありかつ博士論文を執筆中の者
 - ③博士号取得済みの者。
- 2) これまでに先端都市特別研究員（若手）として採用されたことがある方でも、博士号を取得済みであれば再応募が可能です。

c. 応募手続

1) 出願書類：

- a. 申請書
- b. 受入研究者による承諾書
- c. 現在の指導教員による推薦書

※ 別表に示す「受入研究者候補」から「受入研究者」を1名選定し、事前に承諾を得てください。
 加えて、現在の指導教員による推薦状が必要となります。両者が同一の方でも構いません。いずれも所定様式を用いること。

2) 募集期間：2021年2月15日（月）～2月26日（金）17:00必着（下記宛に送付または持参のみ受付）

d. 選考方法

URP特別研究員選考委員会が実施します。書類審査の結果は 2021年3月10日（水） に通知します。
 「a. 有給」を志望のうえ書類審査を通過した方にのみ、2021年3月15日（月） 大阪市立大学杉本キャンパスにて口頭試問を行います。詳細は該当者に別途通知します。遠方にお住まいの方はご相談ください。口頭試問の結果は 2021年3月22日（月） に通知します。

e. 今後の募集予定

2021年度10月採用分については、2021年7月頃に募集要項を公表する予定です。

【問い合わせ・出願書類送付先】

〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

大阪市立大学都市研究プラザ 先端的都市研究拠点事務局

TEL：06-6605-2071 FAX：06-6605-2069 E-mail：office@ur-plaza.osaka-cu.ac.jp

【別表】URP 先端都市特別研究員（若手）受入研究プロジェクト・受入研究者一覧

No.	プロジェクト	受入研究者
1	A new development in urban ecology: inclusion of biodiversity and cultural communication 生物多様性と文化コミュニケーションを組み込んだ都市生態学の新展開	岡野浩
2	Transformation in the modern capitalism and cities 現代資本主義と都市の変容	立見淳哉
3	Urban policies, administration and finance in super-aging and depopulating societies 人口減少・超高齢社会における都市政策・都市行財政	阿部昌樹
4	Dialogue between East Asian cities toward recognition to cultural diversity and social inclusion 文化的多様性の承認と社会的包摂に向けた東アジア都市間対話	全泓奎 野村恭代
5	A holistic study on formulation of tolerant urbanism 包容力ある都市の構想に関する包括的研究	水内俊雄
6	A study on early-modern local social history: the City of Osaka and Izumi area 近世地域社会史の研究——都市大阪と和泉地域	塚田孝
7	Multi ethnic (cultural) symbiosis society and socially inclusive arts management 多民族(多文化)共生社会と社会包摂型アート&アーツマネジメント	中川眞
8	Clinical musicology research: building a place for dialogue in sound and words with people with and without learning difficulties 臨床音楽学研究:知的障害者を含む音と言葉による対話の場の構築	沼田里衣
9	Invention of a model of support to disabled people aiming at revitalization of multigenerational regional communities 多世代共生型地域再生のための障害者支援モデルの開発	内田敬
10	Revitalization of cities in a resilient way with the utilization of architectural stock: a study of row houses in Osaka and modern architecture 建築ストックの活用によるレジリエントな都市再生—大阪長屋と近代建築を対象に	嘉名光市 藤田忍
11	A study on the art of residence and community development addressing disasters and dysfunction in a resilient ways 災害や機能不全に対するレジリエントなコミュニティづくりや住まい方に関する研究	横山俊祐